

(別紙様式2)

## 令和4年度 文京区学童クラブ待機児童対策計画

令和3年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

35人

### 1 学童クラブの待機児童が発生している原因

区が進めてきた子育て支援施策の充実に伴い、子育て世代の転入が増加しており、小学生児童数も直近5年間は毎年4～5%の増加を続けている。一方、都心区である区内で学童クラブを整備できる公共施設は限られており、迅速な整備が進まず待機児童が発生する結果となっている。本区における年少人口は2034年（令和16年）まで増加傾向が続くと予想されているため、迅速な施設整備が必要である。

### 2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

#### (1) 方針

既存の学校施設については児童数増により普通教室も不足してくる予想のため、学童クラブの増設は難しい状況である。また、その他の公共施設でも余剰のスペースを見つけるのは難しいことから、民間資源を活用し学童クラブを整備する事で待機児童解消を目指していく。

#### (2) 具体策

民間資源を活用するため、賃貸できる物件と施設運営をセットで提案する「物件提案型育成室運営プロポーザル」を中心に整備を進めていく。また、小学校新築工事に伴う学校内への学童クラブ整備に先立ち、小学校が新築されるまでの間、リース物件として整備した学童クラブを小学校新築後も継続使用するため、買い取ることを検討している。

### 3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

民間物件等を活用した方策により、整備可能な公共施設が不足する地域においても、ニーズをとらえたスピード感のある学童クラブ整備を行うことができ、地域偏在の課題をクリアしながら待機児童対策を行うことができる。

### 4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	8,454	8,913	9,307	9,806	10,214
増減	—	459	394	499	408
登録児童数	1,598	1,634	1,675	1,834	1,866
増減	—	36	41	159	32
待機児童数	16	22	6	33	35
増減	—	6	▲16	27	2

### 5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	10,541	10,885	11,041	
増減	327	344	156	
登録児童数	1,937	2,017	2,117	
増減	71	80	100	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	民間資源を活用するため、賃貸できる物件と施設運営をセットで提案する「物件提案型育成室運営プロポーザル」を中心に整備を進めていく。			
待機児童数	32	15	0	
増減	▲3	▲17	▲15	▲35